

F10 「MTI企画部(*1)」：室蘭市

室蘭工業大学大学院 椎名達彦

二川目直輝

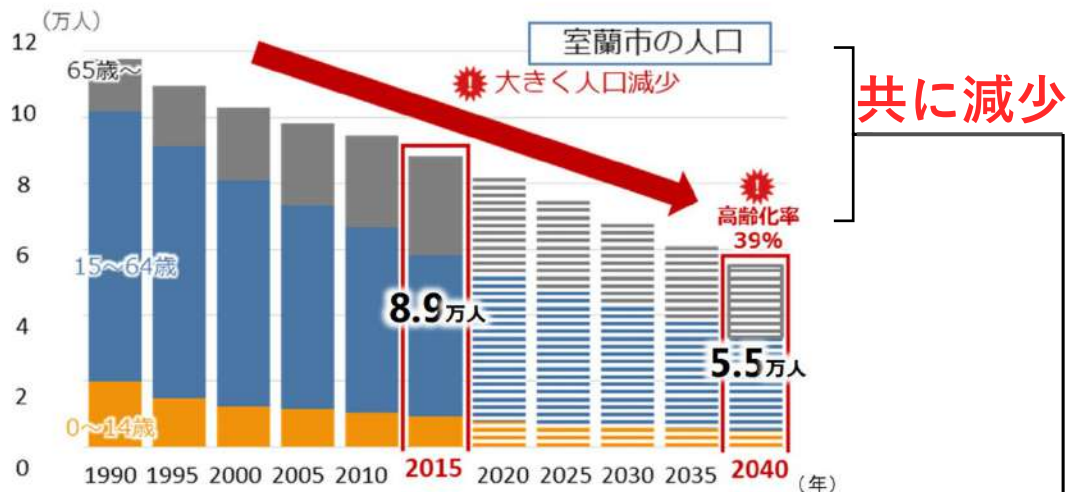


室蘭工業大学の大学生が作る、 大学生と大学近隣住民向け、 バス待ちストレス軽減システム 「MaTIバス」

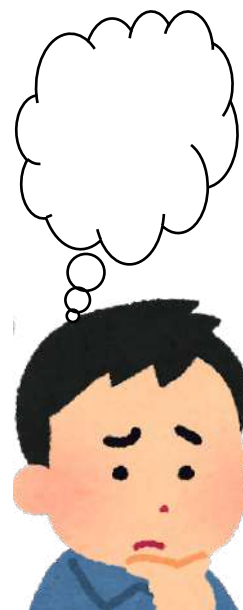
*1 : MTI = Muroan Traffic Improvement

地域課題：室蘭の、交通を便利にしたい！

<人口減に伴う公共交通の利用減・市民満足度低下>

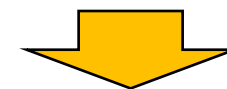


路線バスの乗客数

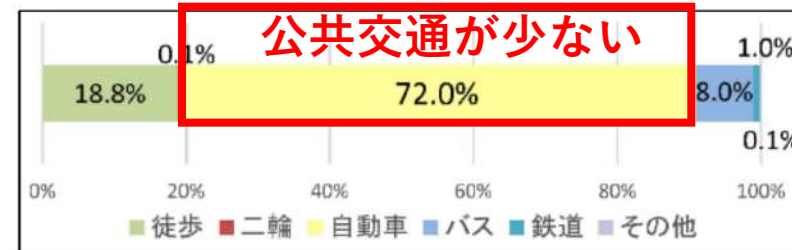


室蘭市から入手した
アンケート結果の項目別結果(2018)

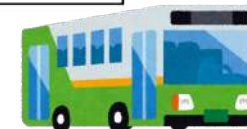
ダイヤへの不満	50%
運行情報が得にくい	40%
待合環境が良くない	50%



ダイヤと待合への
不満が特に多い



市内の交通手段分布



学生アンケート結果

コスト・使い勝手

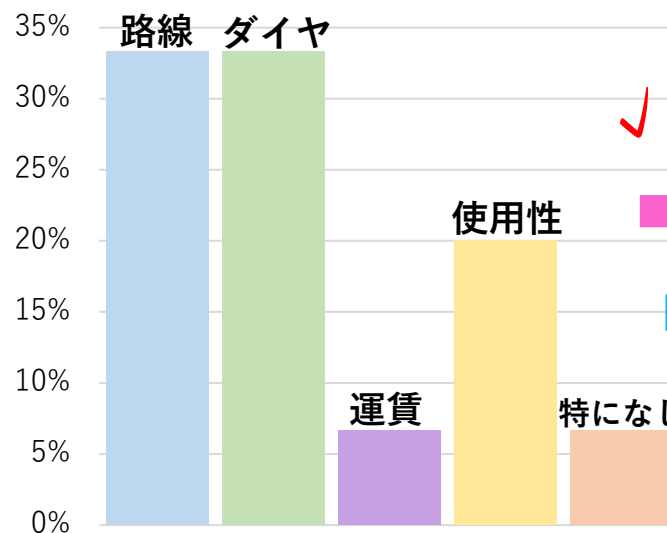


スマホアプリを通じて解決



スマホ世代代表として
「学生」へアンケート

対象: 研究室の学生10人程度



✓ pick up

- 「バスが遅れてくる」
- 「バス停に屋根を」
- 「夜の運行数が少ない」

	11月		12月			1月
	2週	3週	1週	2週	3週	1週
STEP1	課題・対象の設定					
STEP2		仮説の裏付け				
STEP3			具体案の練りこみ			
STEP4					実装に向けた取組	



MaTIバス ～待ち時間軽減およびバス停の使いやすさ向上～

・待合環境の改善

➡雨風を防げるような待合所



・バスの接近を知らせる

➡バスの位置が分かるようなUI

平常運転の時



遅れている時



今後の計画案 ～学生によるアプリ開発～

連携



道南バス株式会社
パナソニックITS株式会社



月	～3	4	5	6	7	8	9	10	11～
実施事項	アプリの仕様決定	学内インターンという授業を通じ、情報系の学科でアプリ開発を学びながら作製する						大学内での実証、結果をまとめる	アプリの仕様の見直し、アイデアの改善



室蘭工業大学「MIT企画部」と、室蘭市の連携

地域の活性化など、様々な取り組みにおいて、室蘭工業大学と連携しています。

「地域おこし企業人」制度を活用し、産官学連携を進め、室蘭工業大学への技術指導も実施しています。

今年度は、室蘭工業大学のPBLや、enPiTに関する講師として関わっています。

講義の中で、デザイン思考や、アプリ開発に関する技術を伝え、今後、さらに密に連携していく予定です。

現在、室蘭市では、室蘭MaaSプロジェクト「いってきマース」として、公共交通改善について進めています。

本アイデアは、このプロジェクトと、深く関わるアイデアであり、今後も、道南バス様含めて、交通事業者とも協力しながら、実際にこの室蘭市で実現していく内容になります。

オープンデータを十分活用した室蘭市の現状把握、学生のできることを最大化し、実際に効果の出るアイデアにするまでのプロセスも、非常に素晴らしかったと思います。

このアイデア限りではなく、学生が連続的に活動し、改善しながら実装していくことが出来る仕組みの構築をしていきたいと思っています。

室蘭工業大学のPBL、及びenPiTの講義にて、講師として参加



室蘭MaaSプロジェクト「いってきマース」

「既存の交通手段とICT技術を活用し、利便性の高い新たな移動サービスを導入することにより、誰もが移動に困らない街を実現すること」

室蘭MaaSプロジェクト
いってきマース

